

PB-37 地域主体のバス グリーンスローモビリティを活用した観光型交通空白地有償旅客運送

草水清美・田中晨佑(京都府和束町役場), 金澤重之(近畿運輸局京都運輸支局), 井上学(立命館大学衣笠総合研究機構)

キーワード: 観光MM・バス利用促進・地域公共交通活性化・グリーンスローモビリティ

〈背景と目的〉

■ 京都府和束町の特徴「茶業を中心としたまちづくり」

課題: 茶畑の景観に公共交通でアクセスできないため、
自家用車による来訪が増加

⇒ 駐停車車両の増加が農作業の支障に
特に時間との戦いになる茶摘みの時期は大きな問題に



■ 観光地におけるラストワンマイルとして「グリーンスローモビリティ」を活用

■ 観光目的の自動車の抑制と新しい観光スタイルの確立を目指す



和束町

茶畑景観

グリーンスローモビリティ車両

〈プロジェクト内容〉

■ グリーンスローモビリティを活用して茶畑景観を楽しむ路線

本プロジェクトでは、グリーンスローモビリティによる茶業や茶畑景観をめぐるガイド付き周遊ツアーを2017年より土休日を基本に期間限定で運賃無料・事前予約制の実証実験を行った。

運行時期によって、ルートや運行時刻、乗車方法などを変更するとともに、利用者に対するアンケート調査によってより満足度が高まる運行形態を検討した。

また、平日は町内のラストワンマイルをカバーする目的で地域住民向けの運行も行った。



無料運行期間中に、利用者の満足度調査をふまえたルートや運行時刻、ガイド内容の検討を行った



■ 茶畑景観へのアクセス手段であるが…

利用者は茶業に関するガイドや途中の景観だけではなく飲食や土産の購入にも関心が高い

グリーンスローモビリティによる移動をラストワンマイルや従来の移動手段ではなく

⇒ 「ガイド付き周遊ツアー」として商品化

〈効果〉

実証運行期間中の利用者 (2017~2020年度)

観光ルート1,146人 住民向けルート270人

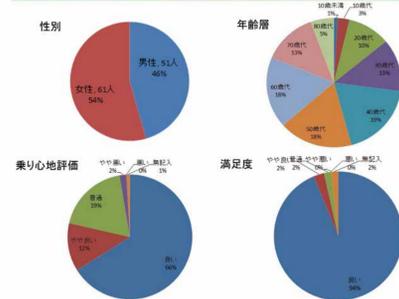
利用者数(観光客対象): 無料運行

■ 2017年11月4日~12月3日	毎日運行/2台	4便/1日	497名
■ 2018年10月6日~11月30日・2019年3月2日~31日	土日祝日運行/1台	4便/1日	112名
■ 2019年9月8日~11月30日・2020年3月1日~29日	土日祝日運行/1台	4便/1日	274名
■ 2020年10月3日~11月29日	土日祝日運行/2台	4便/1日	263名

利用者数(住民対象): 無料運行

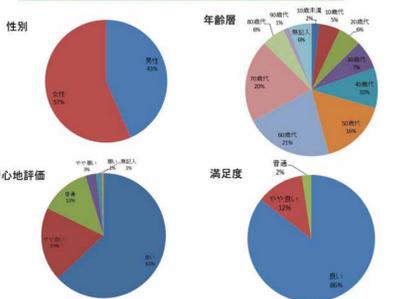
■ 2019年11月25日~12月24日	平日運行/1台	1路線3便/1日	19名
■ 2020年3月1日~3月29日	土日祝日運行/1台	2路線各2便/1日	43名
■ 2020年10月1日~11月30日・2021年3月6日~28日	平日運行/1台	2路線各5便/1日	251名

平成30年度 アンケート結果 10月6日~11月25日、3月2日~31日 乗車数: 112人



アンケート結果 (2017年度)

令和元年度 アンケート結果 9月8日~11月30日 乗車数: 214人



アンケート結果 (2018年度)

- ・ 観光ルートでは幅広い年齢層の利用
- ・ ガイドの説明が高評価
⇒ **自動車での来訪よりも付加価値が高い移動**
自動車の抑制が期待される
- ・ 経路上の観光施設や商店での停車時間を設定
⇒ **飲料や土産物の購入につながるワンストップサービスに**

〈本格運行〉

2021年4月から交通空白地有償旅客運送として運行開始
愛称「グーチャモ」 土休日運行 4便/1日

大人1,000円/子ども500円

※奈良交通バス利用者は大人300円/子ども150円

⇒ 「町外を結ぶ唯一のバス路線の維持」

・ 運行開始6日間で37名 1便当たり1.5人

グリーンスローモビリティの運賃ではなく

「茶畑周遊」のツアー料金という表現の工夫

⇒ 運賃抵抗を和らげる

町内の住民利用については自動車からの利用の点が進んでいるとはいえず、地域住民MMを通じた利用の促進が課題

